

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【文部科学省】

施策番号	24143	施策名		大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム			
新規／継続	継続	領域	人財強化	国際的位置付け	—	AP施策	
競争的資金	○	e-Rad	○	社会還元			
施策の目的及び概要	世界と伍する競争力を有する大学づくりのため、様々な分野において、国際的に第一級の力量を持つ研究者等を育成することを目的として、大学院（博士課程（後期））専攻等を対象に、国際的に卓越した教育研究拠点を形成する取組を支援する。平成23年度は、事業継続期間中にある41大学140拠点への確実な財政支援を実施する。						
達成目標及び達成期限	・本事業採択拠点から、優れた研究者等を輩出する。 ・特定分野で世界トップ50に入る研究・教育拠点を100以上構築する。 ・博士課程（後期）在学者の2割程度が生活費相当額程度を受給する。						
研究開発目標及び達成期限	・平成25年度までに、高度な教育力・研究力を持つ、41大学140拠点を形成する。						
23年度の研究開発目標	・平成23年度中に、高度な教育力・研究力を持つ、28大学63拠点を形成する。 ・平成20、21年度採択の30大学77拠点における取組を確実に推進する。						
施策の重要性	我が国の国際競争力を確保し、優れた研究者等を養成していくためには、あらゆる学問分野を対象として、我が国の大学院（博士課程（後期）段階）の教育力・研究力を、当該学問分野に強みを持つ専攻等を対象に、重点的に強化することが重要。						
実施体制	第三者による審査・評価委員会を設け、国公立大学を通じた公募による審査を実施。また、事業開始3年目に中間評価、事業期間終了後に事後評価を実施。						
H22予算額（百万円）				H23概算要求額（百万円）			
26,474				26,429			
独立行政法人名（運営費交付金施策のみ）							
H23概算要求額の内訳	1課題あたりの金額：189 ・うち間接経費：0 継続プログラム数：140 審査・評価等経費：39 —						
期間	H19～H25			資金投入規模（億円）		1,533	
これまでの成果（継続のみ）	採択拠点においては、大学のマネジメントの強化、大学改革の活性化、大学院としての教育研究活動の充実強化（企業や海外機関等との共同研究数の増加、留学生の増加等）、優れた学生への経済的支援の充実（RAの増加等）、博士課程学生の研究能力の向上（海外学会発表数、論文発表数の増加等）等が確認できている。 また、平成19年度採択63拠点の中間評価を実施し、42拠点が「現行の努力を継続することによって、当初目的を達成することが可能」、21拠点が「当初目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要」と判断された。（「当初目的を達成することは難しい」「当初計画を大幅に縮小することが必要」「拠点形成を中止することが必要」と判断された拠点はなし。）						
社会情勢・技術の変化（継続のみ）	国際的に優れた人材の獲得競争が激化。						
昨年度優							

先度判定 (継続のみ)	優先	優先度判定時の指摘 への対応(継続のみ)	特段の指摘事項なし
国民との科学・技術対 話推進への対応(対象 施策のみ)		いずれの拠点においても、積極的に取り組まれている状況にあるが、 引き続き、各拠点に対する周知を図っていく予定。	